



日本物理学会のこの1年 (2006年10月～2007年9月)

2006年度は、女性研究者支援モデル育成事業、女子中高生理系進路選択支援事業、出産・育児による研究中断者のための学術振興会特別研究員制度などが施行され、これまで私達が提言してきたことの一部分が現実の施策として結実してきたことを実感した年であった。

日本物理学会男女共同参画推進委員会では、委員個人がそれぞれの所属機関において、上記の事業に関わった。また12名の委員(男女同数)と、17名のネットコメンテータ(男性9名、女性8名)が主題別に7つのサブグループ(SG)に分かれて、「動き始めた政府の女性研究者育成および支援策を生そう！」を課題に、以下の活動を展開した。

SG構成: [1]高校生への情報発信, [2]若手女性支援策, [3]学会誌での広報, [4] 年会シンポジウム企画, [5]学協会連絡会運営委員会対応, [6]海外との協力, [7] アンケート等統計調査。

1. 年次大会シンポジウム「研究・教育の場における男女共同参画—女性研究者支援策の現状と展望—」:
(2007年9月24日, 北海道大学). 年会シンポジウム担当SG: 田島節子, 家泰弘. 平成18年度から、「女性研究者支援モデル育成プログラム」(科技機構), 育児等による研究中断からの復帰支援特別研究員(学振), 「女子中高生理系進路選択支援事業」(基盤政策課)等の新事業が始まった. 2年目に入った今年度は、山脇良雄(文科省), 久保真希(学振)の各氏から、政策の背景, 具体的内容を伺うと共に、モデル育成プログラムに採択された大学関係者から、現状と問題点について講演していただいた。本委員会からは、ネットコメンテータの鳥養映子(山梨大)が、女子高校生夏の学校の取り組みについて報告した。その後、講師全員によるパネル討論会を行い、今後さらに取り組むべき課題について議論した。

2. 「日本学術振興会復帰支援フェローシップ RPD 応募サポート」 制度の実施:

若手女性支援策SG担当: 田島節子, 家泰弘, 肥山詠美子, 会員 ML および日本物理学会会誌にて広報。相談件数 2件(海外含む)。

3. 女子中高生理系進路選択支援事業: 高校生への情報発信SG

「平成18年度女子高校生春の学校～ジュニア科学塾2008 in 関西～」(2007年3月21-22日, 神戸大学・兵庫県あさぎり寮). 文科省・学協会連絡会・SCOMS主催. 参加高校生85名. 実験・実習「反粒子を探せ! 真空の謎に迫る」: 谷田聖, 藤田佳孝(阪大), 高校生によるサイエンスカフェ形式での発表会では、最高得点賞を受賞した。ポスターセッション「物理を学ぶと、どんな進路があるの?」: 田島。

「平成19年度女子高校生夏の学校～科学・技術者のたまごたちへ～」(2007年8月16-18日, 国立女性教育会館). 文科省・学協会連絡会・国立女性教育会館等主催. 実験「超伝導リニアモーターカーで地球を一周」「虹色の液晶ストラップを作ろう」: 森初果, 有光直子, 田島節子, 吉兼芙美子(東大理). ポスターセッション「物理を学ぶとどんな進路があるの?」「宇宙の中のマイ・ライフ」: 鳥養映子, 樋口岳雄(KEK), 中浜優(東大理), 関谷絢子(奈良女子大). 協力: 高木英典(理研), 高エネルギー加速器研究機構. 物理の実験・実習に44名(110名中)もの参加希望があり, 10テーマ中最高の人気となったことが担当者にとって望外の喜びであった。

その他の活動: 信州夏の学校「私もサイエンティスト」(信州大学, 2007年8月24日)担当: 中島美帆。

4. 日本物理学会誌において「男女共同参画推進委員会だより」を連載: 広報担当SG: 井上順一郎, 初田真知子, 中島美帆. 委員会活動の概要(第1回), RPD制度(第2回)や女性研究者支援育成モデル事業(第3回)などについての紹介記事を2-3ヶ月ごとに掲載。

5. 学協会連絡会の活動への参加: アンケート調査についての協力(2007年8月会員MLでの依頼, 物理学会誌上会告として依頼). 第5回シンポジウム(名古屋大学)に5名参加, ポスター発表: 肥山詠美子。

6. 国際協力の推進: (1) AAPPS-APCTP Joint Forum on “Women in Physics”, (Nov. 17, 2006, Pohang, Korea) 招待講演: 鳥養, 参加者約50名. (2) IUPAP “Women in Physics” WG メンバー会議 (Apr. 12-15, Germany): 出席前田京剛. 各国の現状を紹介し, 次回の WG 主催会議の開催方法について議論. 次回は韓国ソウルでの開催と決定. (3) Asia Pacific Physics Conference (APPC10)における “Women in Physics” セッション (Aug. 20-24, Pohang, Korea): 坂東, 鳥養両元委員長が招待講演, ポスター発表: 鳥養, 前田, 田島. 科学技術分野における女性人材育成支援策の開始と, 学協会連絡会が果たした役割を紹介した。

7. 委員会ホームページの充実: 広報SG: 担当 中島美帆

委員会の議事録や女子高校生夏の学校で実施した実験の紹介など, 委員会活動を随時追加掲載し, HPを一層充実させた。

(文責田島)